



# さくらんぼだよ

6月号

平成30年6月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

## 共に語り合い、育ちあう懇談会

園庭の畑では、今、スナップエンドウがぐんぐん伸び、子ども達は朝から、収穫に大忙しです。玉ねぎも土の中からちよっぴり真っ白な顔を覗かせはじめ、収穫の時を待っているようです。また、雪や霜から大事に守って無事、冬越ししたそら豆はしっかり実をつけはじめ、大きなさやが葉っぱに隠れるようにして垂れ下がっています。収穫までにはあと一歩！というところです。虫も大好きな子ども達は、小さな図鑑を首にぶら下げて園庭のあちこちを探索して歩き、何かを見つけると図鑑を開いてはお互いに得意気に話しています。一方、室内では5歳児クラスで飼育しているメダカが卵をつけていました！一番先に気付いたHちゃん、メダカのお腹に何か付いている、何だろう？と図鑑を取り出し、卵と気付いたようでした。この大発見にスイミー組の子ども達は大喜び。卵を産み付けるには水草が必要ということもしっかり図鑑を読んでわかった子ども達。職員が慌てて水草を買ってきましたが、小さな図鑑を持ち歩いたり、大きな図鑑で調べる子どもたちの姿から小さな科学の芽が出てきていることが感じられました。新しい保育指針の中には、幼児期の終わりまでに育てほしい姿として10項目示されていますが、その中の一つである“自然との関わり・生命の尊重”の項目に値することではないかと思いました。この項目は、自然に触れて感動する体験、また、身近な動植物との関わりで、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになることを目的としています。自然いっぱい園では、様々な物に触れて感動する体験も多く、自然の変化なども感じ取ることもできます。また、クラスで生き物を飼育し、身近なところで動植物に触れるからこそ生命の不思議さや尊さに気付き、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちで育まれてきているように思います。

家庭でも、きっといろんな事に気付いたり感じたりしていることがあると思います。何気ない子ども達のつぶやき、表情を大事にしていきたいですね。

さて、過日行われた3歳、4歳、5歳の保育参観では、各クラスともおとうさん、おかあさんたちとクッキングを楽しみました。3歳のクラスではクッキングが始まって以来初めての手打ちうどん作り。手でこね、足でキュッキュッと踏み続けて作ったうどん。4歳のクラスでは、畑からニラを収穫するところから始まりニラワンタンスープ、イチゴジャム作り、5歳のクラスは子ども達が春先に摘み取ったよもぎを使ってのよもぎだんご作り、と、まさに食育を大事にしている西多賀チェリー保育園ならではの保育参観でした。どのクラスもワイワイにぎやかに親子で楽しみながらのクッキング。いつも以上に食欲旺盛の子ども達でした。また各クラスの懇談会では、お互いに語り合い、子育ての大変さ等共有できたのではと思います。これからは、ここからもう一歩踏み出し、お互いに分かりあうことをしながら子ども達の成長へ繋げていきたいと思っています。

2018・6・1 < 園長 中館 和子 >

## お知らせ

### <いいおかお組・ノタン組懇談会>

0歳児いいおかお組、1歳児ノタン組の懇談会があります。0歳児、また、1歳児クラスに新しく入園された保護者の方にとっては初めての懇談会。約2ヶ月を園で過ごし、様々な思いがあるかと思えます。それぞれ状況は違いますが、これからの長い園生活・・・、お子さんの園での様子、家庭での様子を伝え合いながら、園の方針でもある“共に子育て”を目指し、皆さんと一緒に子育てについて語り合いたいと思います。是非参加してください。

1歳児ノタン組	日時	6月 7日(木)	13:00~15:00
0歳児いいおかお組	日時	6月26日(火)	13:00~15:00
	場所	2階がらがらどん組(3歳児クラス)	

### <歯科健診について>

6月13日(水)、6月27日(水)の2回にわたり、歯科健診を行います。2回のうち、どちらかを選び、必ず受診をするようにしてください。尚、時間は7:00~8:40です。この時間内に受診して下さい。



## おねがい

### <名前の記入をして下さい>

衣服、靴、コップ、おてふきタオル等、名前が付いていないもの、薄くなって消えかけているものがたくさんあります。もう一度、持ち物の確認をお願いします。

## 行事予定

6月		
日	曜日	行事
5	火	発育測定
7	木	1歳児懇談会
12	火	避難訓練
13	水	歯科健診
15	金	防犯訓練
19	火	誕生会
22	金	夏まつり実行委員会
26	火	0歳児懇談会 手洗い指導
27	水	歯科健診

7月		
日	曜日	行事
6	金	七夕会
7	土	早朝草取り
10	火	発育測定
13	金	避難訓練・誕生会
21	土	夏まつり
31	火	夏まつり実行委員反省会





“子育て”と一口に言ってしまうと何のこともないようですが、昔から三つ子の魂百までと言われるように3歳までの子育てがやっぱり一番大事なようです。特に0、1、2歳の時の関わりがその後の人生にも大きく影響するとまで言われてきていますが、何故今こんなにも大きく問題視されるようになってきているのか、色々本などを読みながら考えてみました。メディアによる影響もここ数年言われては来ていますが、地下鉄、バスに乗っても、また、街の中を歩いていても目にするのはスマホを片手に歩く人のなんと多いこと！赤ちゃんを抱っこしててもその姿は変わることがなく、赤ちゃんの表情にも目を向けることがなく、言葉をかけることもあまり見られず、普段はどんな子育てをしているのかな？とフツと疑問に思うことがあります。そんな時に目にしたのが「3000万語の格差」という言葉でした。シカゴ大学の脳科学者が、学歴、所得の異なる42家族の子どもを生後9ヶ月から3歳までを追求したところ、親からかけられている言葉の量と質に大きな差があったということです。学歴や所得に関係なく人間として大事なことは、乳幼児の時から、子どもの周りにいる私たち大人が、温かさと言葉に満ちた関係を作ること、それが貧富の差以上の意味を持っているとありました。スマホやタブレットという物は私たちの生活の中では、今ではとても便利なものとなっていますが、大人と子どもの間にすさまじい勢いで入り込んできて言葉を奪ってしまったようでもあります。大人から温かい言葉をいっぱいかけてもらう事で、子ども達は言葉を獲得していきます。それは絵本の読み聞かせにも通じることです。人との関わりはいくつになっても続くもの。大人が何もかも“やばい！”等の一言で済ませてしまっただけでは子どもの言葉を貧しくしてしまいます。子ども達の心の中に湧きおこる様々な感情を子どもなりの言葉で表現してくることをゆっくり聴いて、言葉を育み、人と関わる力を育てていきたいですね。



母と子の  
絵本 棚



「だるまちゃんとかみなりちゃん」 出版社 福音館  
かこ さとし ぶん・え

かこ さとしさんの代表的な「だるまちゃん」シリーズの1冊です。40年以上も前に出版されたとは思えないほど、近未来的な絵であったり、また、子ども達が遊んでいるページは今も音も変わらない遊びであったり、親子で楽しめる絵本となっています。

「はははのはなし」 出版社 福音館  
かこ さとし ぶん・え



むし歯の痛さは、むし歯になった人にしかわからない・・・夜は寝られたもんじゃない・・・みんなが楽しそうに笑っていても、痛くて、痛くて・・・そうなんです。むし歯になったら大変！そうならないように、体との関係も子ども達に分かりやすく書かれていて楽しみながら歯の大切さが実感できますよ。

乳幼児期の虫歯のリスク

乳歯は抵抗力が弱いので、むし歯の進行が早く、知覚神経も鈍いので悪化するまで気づかないということです。また、永久歯に生え変わる時に、乳歯のむし歯菌が永久歯に感染する恐れがあります。さらにむし歯により乳歯が早く抜けると、将来の歯並びにも影響します。発音もうまくできなかつたり、かむ力が育たなかつたりとリスクは大きいものがあります。いくら治療法が進歩しても、一度むし歯になってしまった歯は、元の自然の歯に戻ることはありません。むし歯は「感染症」の一つであることを忘れず、家族みんなで虫歯予防を心掛けましょう！

- スプーンや歯ブラシは共用しない
- 口うつしで食べさせない
- 家族でむし歯のある人は早く治療する
- 家族全員でむし歯予防を心がける



わらべうたであそぼう

♪石松たいまつ♪

(じゃんけんあそび)

いしまつたいまつ はさみで三本  
大指小指ちょいとだして かみ  
やんやのいん

いのういん (あいこのとき)



「石松たいまつ」

